

# 新校舎で初めての入学式

4月7日は虹別中学校と塘路小中学校、4月8日は標茶小学校が新校舎になってから初めての入学式が行われました。入学式終了後、新1年生は新しい教室とともに学校生活をスタートしました。



虹別中学校



標茶小学校



塘路小中学校

## ありがとうございます



3/23

標茶町農業協同組合から、JAバンク食農教育応援事業の一環として、

小学5～6年生を対象とした「農業と食」「農業と環境」「農業と経済」などをテーマとする補助教材を寄贈してくださいました。

高取剛組合長（写真左）は「食農教育を通して、命の大切さを学んでほしい」と語ってくれました。



3/30

(株)住友建設のみなさんが地域貢献活動として、多和平展望台周辺の除雪をしてくださいました。寒い中朝8時から、重機やスコップなどによる作業できれいに排雪してくださいました。

4/1

標茶町商工会女性部は、今年も「愛の鈴」80個を、また加茂スミ子さん（茶安別）からは「豆わらじ」80個をそれぞれ町に寄贈してくださいました。役場に寄贈に訪れた三本女性部長（写真左）は「事故にあわないよう、気をつけて通学してほしい」と話されました。寄贈していただいた鈴とわらじは、町内の小学校の入学式で新一年生に手渡されました。



豆わらじ



愛の鈴

4/6

釧路建設管理部弟子屈出張所管内建設工事安全管理対策協議会は、同出張所の技術部門が本所に統合になったことから、組織を解散することとなり、その活動の中で積み立てた余剰金を町へ寄付してくださいました。役場には会を代表して東星渡部組(株)社長の山村五十三会長（写真右）、(株)藤原組社長（写真右から2番目）、辻谷建設(株)社長（写真右から3番目）が訪れました。



4/7

東部ダイハツ(株)の笥陽介社長（写真右）が標茶小学校校舎新築完成にあたり、「日ごろから地域にお世話になっておりますので感謝の意味を込めて贈ります」と話し、標茶小学校へゴミ箱を寄贈してくださいました。



## 3/24 どうなる？ どうする？ TPP標茶セミナー開催

環太平洋戦略経済連携協定（TPP）が地域経済への影響について理解を深めるために、「どうなる？ どうする？ TPP標茶セミナー」がコンベンションホールういずで開かれ、町民など約300名が参加されました。講演で慶應義塾大学の金子勝教授は、TPPは農業分野に限らず郵政、医療、保険、公共事業の入札基準など24分野にわたってアメリカの基準に合わせられてしまい「アメリカの51番目の州になってしまう」とTPP参加の危険性を訴えました。また、「TPP参加反対だけではなく、前に進んでいくことが必要だ」と提言されました。

